

ご挨拶



代表取締役会長 今井 博文 代表取締役社長 岩井 孝之

株主の皆さまにおかれましては、日頃より当社事業へのご理解とともに多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、当社を取り巻く事業環境は、インフレによる影響で原材料等の価格が高騰するとともに、薬価改定等の政策や規制の強化の影響を受け、厳しさを増しています。一方で、女性活躍推進の流れとともに、女性特有の健康問題に対する関心が高まり、女性医療領域を強みとする当社事業にとって、貢献の機会がより広がってきています。

当社は「世界の女性のwell-beingの向上に貢献する」というビジョンを掲げ、女性医療のスペシャリティファーマとしての位置づけを強化してまいりました。

私たちは、今後も世界の女性のwell-beingの向上に貢献し、グローバルマーケットへの進出を果たすとともに、世界一幸せな会社と社会貢献の一体化を実現するため、全力で取り組んでまいります。

財務ハイライト

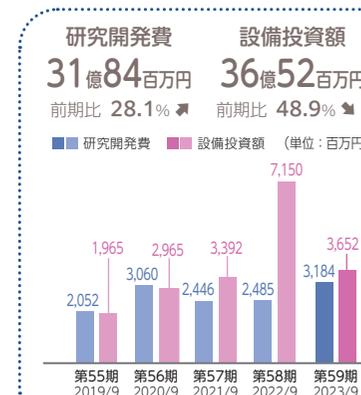
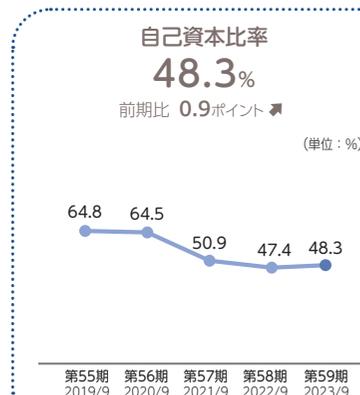
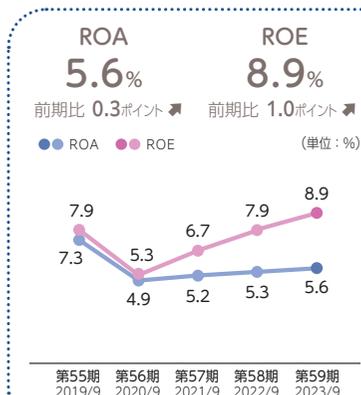
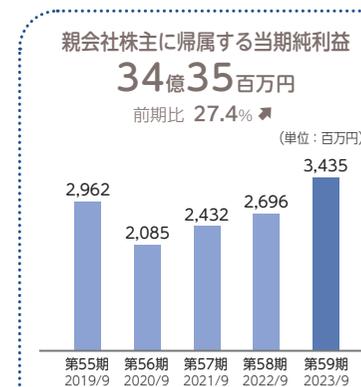
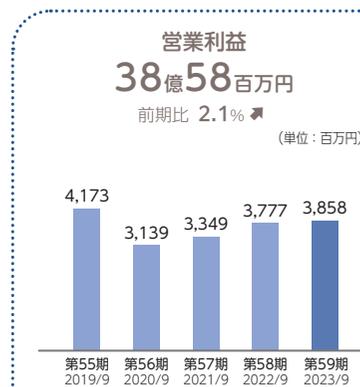
POINT.1

女性医療領域における既存品・新製品の貢献により連結売上高は前期比15.4%増。連結営業利益は販売管理費、研究開発費の増加を、売上高の増加で補い前期比2.1%増となりました。

POINT.2

OLICによる受託が伸長したこと、円安の影響により海外事業における売上高は前期比21.0%増となりました。

※ 2022年9月期より会計基準を変更しております。



Top Message



スペシャリティファーマとしての存在感を強め 目標達成に向けて成長ペースを加速します。

代表取締役社長 岩井 孝之

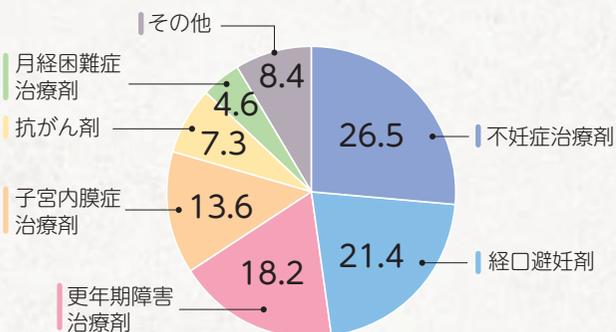


2023年9月期の業績

当社が注力する女性医療領域は、不妊治療に関する保険適用が拡大された2022年4月以降、若年層を中心に受診者数が増加しており、当期においても関連する医療用医薬品市場に拡大傾向が見られました。

そうした中、自社開発新薬として2021年11月に発売した黄体ホルモン製剤「エフメノ®カプセル」が、既存自社品「ウトロゲスタン®腔用カプセル」とともに販売を伸ばしたことに加え、バクスター株式会社との国内独占販売契約のもと、2023年1月より販売を開始した抗悪性腫瘍剤「ドキシル®」も寄与した結果、当期の売上高は過去最高の408億89百万円(前期比15.4%増)に達し、営業利益は3,858百万円(同2.1%増)を確保しました。

女性医療売上高構成比(単位: %)



研究開発面においても、ジェネリック2製品とバイオシミラー1製品が当期中に製造販売承認を取得し、月経困難症治療剤「FSN-013」が第III相臨床試験を完了(2023年10月に承認申請)するなど、今後の成長への布石をしっかりと打つことができた1年間でした。 **Topics.1**

中期経営計画の進捗状況

現在推進中の中期経営計画(2020年9月期~2024年9月期)は、最終年度における「売上高500億円」「営業利益50億円」を目標に掲げ、その達成に向けた成長シナリオとして取り組みを進めるものです。これまでの4年間

は、海外事業の強化に遅れが生じたものの、それ以外の成長シナリオは、概ね順調に進捗しています。

「女性医療領域No.1への取り組み」は、「エフメノ®カプセル」の上市と「FSN-013」の承認申請を果たし、「プロウパス®」「ドキシル®」を製品ラインナップに加え、サプリメントブランド「LAFILL®」を立ち上げるなど、女性疾患に関する製品ポートフォリオを強化しています。2023年12月には、富山工場に新設した第6製剤棟が稼働を開始し、需要拡大に応える生産体制を整えました。 **Topics.2**

バイオシミラー事業については、日本製薬株式会社からの「サルプレップ®」の承継や、Alvotech社からの製品導入を実施し、次期中期経営計画における同事業の本格

Topics.1

日本におけるFSN-013の承認申請

本年10月、月経困難症治療剤として、新規成分である天然型エストロゲンのエストロール(E4)を含有するFSN-013の製造販売承認申請を厚生労働省に行いました。

当社は日本およびASEANにおける開発・販売権を有しています。米国および欧州等においては、Mithra社とそのパートナー企業によって避妊を適応症として、既に承認・販売されており、タイでは当社子会社OLICが避妊を適応症として承認を取得し、販売を開始しております。

エストロール(E4)は、エストロゲンの受容体を選択的に作用することが確認されており、この選択性による様々なベネフィットが期待されています。

2023年10月18日当社リリース

Topics.2

設備投資が順調に進捗

富山工場第6製剤棟が稼働を開始し、第5製剤棟に増設したマルチシリンジラインの稼働体制が着々と整ってきております。

第6製剤棟では経口避妊薬などのホルモン錠剤の製造を行い、年間製造力は現在の3倍である4.5億錠を見込んでおります。

マルチシリンジラインは、薬理活性の高い成分の多種多様なシリンジ製剤の製造が可能になる設備です。

これらによって、高まる需要や様々なニーズにお応えできる体制が整ってきたと考えております。

富山工場
第6製剤棟(中央)





展開を準備しています。Alvotech社からの製品導入の皮切りとして2023年9月に乾癬治療薬「ウステキヌマブBS皮下注シリンジ[F]」の製造販売承認を取得しました。

Topics.3

海外事業の強化では、2023年5月にタイ子会社OLICが「FSN-013」を避妊薬「Nextstellis™」として発売しましたが、これに続く海外販売品のラインナップ拡充

や、OLICによる製造受託の米国展開、富山工場製造品の米国展開といった動きが遅れている状況です。一方、OLICでは米国向けFDA査察を受ける、当社においては米国パートナーと提携し、米国向けの女性医療領域製品の開発に着手するなど、次期中期経営計画に向けた布石をしっかりと打っております。

造影剤事業は、製造受託の拡大により生産量を維持するとともに、原薬調達先の切り替えなどを通じて上昇

Topics.3

10年振りとなるバイオシミラーの承認申請

本年9月に既存治療で効果不十分な尋常性乾癬、関節性乾癬を効能効果とするウステキヌマブBS皮下注シリンジ[F]の製造販売承認を取得しました。

本剤は、フィルグラスチム製品のバイオシミラーとしてフィルグラスチムBS注シリンジ[F]を日本国内で初めて承認を取得して以来、10年ぶりのバイオシミラーです。

また、2018年11月にAlvotech社(本社:アイスランド)との間でパートナーシップに合意した後、開発を進めてきたパイプラインのうち初めての製造販売承認取得となります。

「バイオシミラー国内No.1」を掲げる当社の中期経営計画に対して、ラインナップの拡充という形で本剤は貢献する他、今後も、高品質なバイオシミラーをいち早く患者様にお届けできるようにするとともに、医療現場や医療経済に貢献ができるよう取り組んでまいります。

2023年9月25日当社リリース



2030年ビジョンの実現に向けて



※2020年5月20日発表当時の計画値です。

する原価費のコストダウンを図り、コストメリットが生じている状態です。今後も更なる事業の持続可能性を高めてまいります。

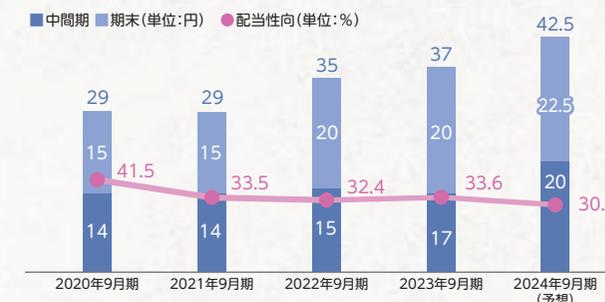
2024年9月期の見通しと課題

中期経営計画を締め括る2024年9月期は、「エフメノ®カプセル」「ウトロゲスタン®腔用カプセル」など女性

医療領域の販売拡大を見込み、売上高48,926百万円(2023年9月期比19.7%増)、営業利益4,907百万円(同27.2%増)を計画し、過去最高業績を更新致します。次期中期経営計画においても、これまで打ってきた布石をしっかりと現実化し、更に大きな医療への貢献を果たしてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、優れた医薬品を通じて、人々の健やかな生活に貢献していく当社事業の発展にご期待いただき、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

1株当たり配当金/配当性向



※配当性向は税引き後営業利益ベースの数値としております。

News

地球環境に配慮した再生可能エネルギーの電力供給開始

当社が北陸電力株式会社との間で締結した、太陽光オフサイトPPA*の1つである石川県羽咋市の太陽光発電所が稼働し、当社初となる太陽光発電電力の供給が、10月に開始されました。

当社は、カーボンニュートラルに向けて、2030年までに富山工場の電力使用量の50%を再生エネルギーへ切り替えることを目指しております。

*Power Purchase Agreement(電力購入契約)の略で、敷地外の遠隔地(オフサイト)に設置された発電設備から電力を購入すること



石川県羽咋市の太陽光発電所の様子

2023年10月2日当社リリース



News

中高生のための探究学習プログラム「コーポレートアクセス」への参画

株式会社教育と探求社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:宮地勲司)が提供する全国最大規模*の産学連携プログラムである、「クwestエデュケーション」に協賛しております。

企業探究コース「コーポレートアクセス」では、参加する生徒たちが企業からのテーマに対し、自ら課題をみつけ探求し企画を提案します。

2024年2月12日から3日間かけて開催される「クwestカップ2024 全国大会」では生徒たちがその成果を発表します。

本協賛により、次世代を担う生徒たちの主体的な学びへ貢献するとともに次世代型リーダーを育成することで、より大きな社会への貢献を生み出してまいります。

*導入校410校、受講生徒数約85,000人(2023年10月時点)



2023年12月1日当社リリース

LiLuLa リルラ

当社が提供する無料アプリ「LiLuLa(リルラ)」では、生理日や基礎体温をまとめて管理できる「カラダログ」や自分で医師に質問を投稿することもできる「教えてDr.」など、正しい情報を多彩なコンテンツで提供し、女性の健康づくりをサポートしています。



<https://www.lilula-web.jp/>



* App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。
* Google Play および Google Play ロゴは、Google LLCの商標です。

新役員のご紹介



取締役常務執行役員
経営企画部長
もりた しゅうへい
森田 周平

略歴
ヘルスケア領域のサノフィ(株)およびグラクソ・スミスライン(株)、容器製造販売業の明祐工業(株)を経て当社入社。営業部門およびSCM部門の役職を歴任後、経営企画部長に就任。

メッセージ

当社の事業を取り巻く環境は薬価改定等の規制や原価高騰など日に日に厳しさを増しております。そのような状況下で当社が価値貢献を行っていくには、持続的な事業の発展を行うことが必要と考えております。営業からサプライチェーンの様々なフェーズ、また受託領域に携わった経験を、新中期経営計画の立案を含む当社の持続的な発展に生かしてまいります。



当社ホームページ役員詳細



常勤監査役
おしま だいじ
尾島 大司

略歴
(株)北陸銀行入行後、支店統括や営業推進等本部部長職を歴任、富山県の医薬品研究開発製造の東亜薬品(株)にて管理本部の役職者として従事したのち当社入社。

メッセージ

企業経営における透明性やコンプライアンス重視の傾向は一層高まっております。規制強化等未曾有の状況下に、スペシャリティファーマとしての価値貢献を推進していく当社の常勤監査役に着任し、身が引き締まる思いです。これまでの金融機関における勤務経験を活かし、社会的信頼に応える企業統治体制の醸成に貢献できるよう、尽力してまいります。

株主メモ 富士製薬工業株式会社

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月開催
基準日	定時株主総会:毎年9月30日 期末配当金:毎年9月30日 中間配当金:毎年3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告方法	電子公告(当社ホームページに掲載) https://www.fujipharma.jp/ir/announce/ ただし、事故その他やむを得ない事由がある場合には、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話照会先 ☎ 0120-782-031 ホームページ https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 プライム市場

IRに関するお問い合わせ

本社/経営戦略本部 経営企画部 経営企画課

〒102-0075 東京都千代田区三番町5番地7 精糖会館6F
TEL:03-3556-3344 FAX:03-3556-4455
<https://www.fujipharma.jp/>

 **富士製薬工業株式会社**

見やすいユニバーサルフォント
を使用しています。

